

平成 31 年新年市民祝賀会市長挨拶

新年明けましておめでとうございます。謹んで、新春のお慶びを申し上げます。

ご参会の皆様方には、平成最後の元日、さまざまな思いや新たな希望を胸に、穏やかな新春をお迎えになられたことと存じます。

早いもので市長任期も折り返しを迎えました。この間、市民の皆様には市政各般にわたり、格別のご理解ご協力を賜りましたことに深く感謝を申し上げます。

昨年は「ワクワク度日本一の西条」の実現に向け、「ONE UP」をキャッチフレーズに、地域経済や都市ブランド、市民生活の底上げに向けて全力を傾注いたしました。シティプロモーションでは「LOVE SAIJO ファンクラブ」の開設、ICTを活用したまちづくりでは「わくわく健康ポイント事業」等の導入、さらに、地域観光サービス統括会社「株式会社ソラヤマいしづち」の設立、長年にわたる交流が実を結んだベトナム国フエ市との友好都市締結など、新たな取組も生まれ、広がりを見せているところであります。

私は、年頭に当たり、本市の更なる飛躍・発展を誓い、「己亥（つちのとい）」の 2019 年への意気込みを表す漢字として「挑^{いどむ}」、挑戦の「挑^{ちょう}」を掲げました。

平成から新しい元号へと転換していく本年、世界に類を見ない速さで人口が減少、少子高齢社会へと向かい、複雑多様化する社会的課題に、変化を恐れず正面から挑んでいく覚悟でございます。

本市が誇る「市民力」や「地域資源」に更なる磨きをかけ、多くの方に「住んでみたい」「住み続けたい」と思っただけの、魅力あふれる西条のまちづ

くりに積極果敢に挑戦して参る所存でありますので、旧に倍しましてのご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、話題は変わりますが、新年早々、明るい話題が舞い込んでまいりました。

皆様には、宝島社から出版されている『田舎暮らしの本』という月刊誌をご存知でしょうか。

今日から、『田舎暮らしの本』2月号が発売になりましたが、今回、特集記事として「第7回住みたい田舎ベストランキング」が掲載されています。

この中で、西条市は、人口10万人以上の「大きなまちランキング」において、“若者世代が住みたい田舎部門”と“自然の恵み部門”の2部門で全国5位、“総合部門”など全5部門すべてで四国1位というランキング結果が公表されています。

これもひとえに市民の皆様と一緒にあって、シティプロモーション活動を推進し、移住・定住の促進活動に取り組んできたことの成果ではないかと、非常に嬉しくありがたく思っています。

今後とも、今回のランキングの定着化に向けて、鋭意、取り組んでまいりたいと考えておりますので、一層のご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、本年が市民の皆様にとりまして健康で幸多き一年となりますよう心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうかよろしくお願いいたします。ありがとうございました。